

様式1 管理運営状況評価書

【対象年度:平成25年度】 (⑤その他の施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

番号	3	施設名	森林果樹公園		担当課名	地域支援課	
区分			内容・説明				
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市都市公園条例及び掛川市都市公園条例施行規則					
	(2)施設設置目的	「小笠山の美しい自然景観と貴重な資料を守るとともに、散策を楽しみながら、充実した果樹の見本園として広く市民の皆様に見ていただける生涯学習都市に相応しい公園」として整備され、公共の福祉に寄与することを目的とした公園である。					
	(3)施設が有する設備、機能の概要	全体面積12.5ha 40種類 1,200本の果樹 多目的広場 芝生広場 管理棟 直売所 野鳥観察小屋 展望台 園路					
	(4)施設建設年度	平成6年2月1日(供用開始日)					
	(5)耐震性能の有無						
	(6)将来予想される改修経費 (想定年度と費用見込み)	自然散策路改修(平成26年度頃 300万円)			防虫ネット改修(平成30年度頃 200万)		
		展望台周辺木管理(平成26年度頃 45万円)			樹種転換(平成27年度 100万円)		
		管理棟改修(平成27年度頃 15万円)					
		駐車場改修(平成27年度頃)					
	(7)指定管理者名	公益財団法人掛川市シルバー人材センター					
	(8)指定期間	平成24年 4月 1日 から 平成27年 3月31日 まで					
	(9)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営					
	(10)自主事業の有無	☒ 実施あり ☐ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
(11)指定事業の有無	☐ 実施あり ☒ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。						
(12)事業報告書提出の有無	☒ 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) ☐ 提出なし						
(13)利用者満足度調査等実施の有無	☐ 実施あり ☒ 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 年度)						

区分			H23実績	H24実績	H25実績	H26当初	備考
2 利用状況	(1)施設利用者数			8,330	9,192		
	内訳 (施設・設備ごと)			8,330	9,192		
	(2)稼働率(利用率)						↓ 備考欄に算定式を記入してください ↓
	(施設・設備ごと)	A	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
		B	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
		C	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
		D	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				

2 利用状況	(施設・設備ごと)		A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分			H23実績	H24実績	H25実績	H26当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名			(公社)掛川市シルバー人材センター	(公社)掛川市シルバー人材センター		※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費			1,274	1,110			
	(3)運営日数			302	307			
	(4)運営人員	①正規職員		0.0	0.0	0.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員		10.0	10.0	10.0		

Ⅱ 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26当初予算額	備考
	①人件費		9,047,767	9,191,175	9,333,456	配分金+賃金+法定福利費+福利
	②印刷費		0	357	50,000	
	③通信費		106,183	120,049	129,000	テレビ受信料+回線使用料+電話

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など		737,067	542,741	963,000	文具消耗品費＋旅費
	⑤借上料		284,865	206,115	210,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等		165,140	135,000	267,080	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)		271,788	5,760	341,780	廃棄物処理手数料
	計	0	10,612,810	10,201,197	11,294,316	
	対前年度増減率		－	△ 3.9	10.7	
区分		H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	0	0	121,174	84,000	
	浄化槽法定検査			9,500	10,000	
	浄化槽保守点検委託料			111,674	74,000	
	②修繕費		1,673,494	1,315,858	1,146,000	
	③光熱水費		217,645	156,324	225,000	
	④燃料費		106,246	123,386	110,000	
	⑤清掃費		0	0	0	
	⑥保守点検費		152,019	0	0	
	⑦その他(施設消耗品)		1,037,786	1,604,061	800,000	肥料＋農業資材＋防除薬品＋原材
	計	0	3,187,190	3,320,803	2,365,000	
	対前年度増減率		#DIV/0!	4.2	△ 28.8	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)＋(B)		0	13,800,000	13,522,000	13,659,316	

(4)合計のうち運営コストの割合		76.9	75.4	82.7	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	0	2,145,050	2,724,900		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		20.2	26.7		

Ⅲ 収支差額の状況 **注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】**

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H23決算額	H24決算額	H25決算額	備考
a) 施設使用料収入		2,145,050	2,724,900	※果樹売り払い金は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料		13,800,000	13,522,000	
収支差額 a)－b)		△ 11,654,950	△ 10,797,100	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H23決算額	H24決算額	H25決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a－トータルコスト)				
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及び指定事業・その他事業の状況

(単位:円)

区分	H23決算額	H24決算額	H25決算額	備考
a) 自主事業の収入		2,231,989	2,886,800	剪定講習会参加費、しめ縄・堆肥等販売
b) 自主事業の支出		2,094,623	2,724,900	
収支差額 a)－b)	0	137,366	161,900	
c) 指定事業・その他事業の収入				
d) 指定事業・その他事業の支出				
収支差額 c)－d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	設置目的を達成できている	3	
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 利用者数の増加

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	前年度より50%以上増加している。	2	霊園裏という立地に加え、果樹の育成に適した勸業とはいえない場所であることから、果樹の利活用による利用者の増加は見込みにく施設であるが、平成27年度に菓子工場の建設が計画されたことから、公園内の果樹の利活用推進に加え、利用者の増加につなげて行く。
2	前年度より増加している。		
1	前年度並みである。		
0	前年度より大幅に減少している(原因を追及する)。		

(3) 収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	黒字である。	1	販売データを基に売れる果樹に樹種転換していく。 地理的、面積的、投資予算的に厳しい状況下にあるため、現状維持しながらの収支改善は難しい。 今後、施設改修(散策道整備、展望台改修など)を含め、投資効果の検証を進め、公園のあり方について検討して行く。
2	収支均衡している。／前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	赤字である。／前年度と同等の収支差額である。		
0	大幅な赤字である。／前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	園路の老朽化により安全性確保は喫緊の課題である。 今年度、緊急避難放送設備の導入を考えており、2～3年かけて、安全性を高めていく。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	0	公園の性質上、収支バランスは考えられない。市の管理する公園の一つとして、規模を縮小して市民の憩いの場として整備していくべきと考える。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいいため、行政がやるべきである。 (直営化、収支差額補てん型指定管理者制度など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

11

／18

V その他自由意見

--